

今年のテーマ

「ひろしまの身近な自然を語ろう～What can we give～」

ひろしま 環境ミーティング in 似島

2026. **2.7** sat ▶ **2.8** sun
11:00 14:20

一年に一度、「環境」「自然」に関わる多様な分野の方々が集い
その年ならではの新たな出会いやつながりを生み出すミーティング

[会 場] **ユーハイム似島歓迎交流センター**

広島県広島市南区似島町 1 8 2

[対 象] 環境・自然に関わる個人・団体、行政、企業、
教育機関、学生

・事前申込が必要です

[参加費] 1泊2日 一般 9,000 円・大学生 7,000 円
(宿泊費・食費込)

1日参加 一般 3,000 円・大学生 1,000 円
(食費別)

[申込方法] 申込フォームにてお申込みください
締め切り 2026.1.7



申込フォーム

スケジュール (予定)

[1日目] 2.7 (土)

- 9:30 フェリー広島～ 9:50 学園
- 11:00 開会式・全体会 1
- 12:00 昼食
- 13:30 分科会①体験・WS
- 16:00 分科会②発表セッション
- 18:00 夕食ほか
- 20:00 交流会・宿泊

[2日目] 2.8 (日)

- 9:15 分科会③クロストーク
- 11:30 昼食
- 12:30 全体会 2
- 14:20 閉会
- 14:50 フェリー学園～ 15:10 広島

主催：特定非営利活動法人 環境パートナーひろしま

【お問合せ先】 fellow@kanpato.org

協力：EPO ちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）・中国地方 ESD 活動支援センター

開催趣旨

「ひろしま環境ミーティング」は、広島県内外の環境・自然・教育・地域づくりの実践者が一堂に会し、互いの知恵と経験を持ち寄る「年に一度の共創の場」です。行政・企業・NPO・教育・市民の枠を越え、「学び合い」から「協働」へ、そして「共感から行動へ」進むことを目指しています。2025年度は全体テーマを「ひろしまの身近な自然を語ろう」とし、身近な自然環境や暮らしに根ざした活動を再発見し、次世代へつなぐための実践知を共有します。

本ミーティングは、報告会ではなく、対話と体験を通じた参加型フォーラムとして構成されています。地域の自然・文化・経済をつなぐ「持続可能なライフスタイル」のあり方を、多様な立場からともに考えます。



◆分科会① 1日目 13:30-15:30 体験・ワークショップ

A. 苔玉作り



贈ろう森プロジェクト

▶▶▶~1本の木がたぐい人と自然の物語~二葉山のどんぐりの苗木で苔玉を作り、自宅で育て、森に贈り豊かな森を育みます。材料費1,500円が必要です。

B. 竹のカトラリー作り



バンブー恵子

▶▶▶何十年も使い続けられる竹は、環境に優しい素材。竹を使うことは、森を守ることにつながります。バターナイフ、竹箸、箸などを作ります。

C. 山を歩き、祈る — 似島の山伏体験



河野宏樹

▶▶▶羽黒山伏とともに似島の山を歩き、祈る体験を通して自然とのつながりを見つめ直します。「無言業」「神仏混合」をテーマに、日本人が古来より自然に神を見いだしてきた感性を、現代の環境観と重ねて考えます。静けさの中で、自分と自然、いのちの循環を感じる時間です。

D. 自然をより深く味わおう



広島県シェアリングネイチャー協会

▶▶▶自然の中に身を置くことで、リラックスした自分を取り戻し、明日からの元気を得られるような時間が過ごせたらと思います。自然と人が共に生き続けられる世界の実現のために、「自然が好き」な仲間と共に、「自然が好き」を広げていきたいと考えています。

E. 似島海岸線自然探勝



調整中

▶▶▶瀬戸内海に浮かぶ似島の海岸線を歩きながら、島ならではの自然や生き物を観察する自然探勝イベントを開催します。穏やかな海と潮の満ち引きが生み出す海辺の生態系や島の自然と人々の暮らしとの関わりについて想いを馳せながらスローペースで散策します。

O. ロープで木登り分科会



菊井博史(ひろしまの森構想プロジェクト)・吉本卓生(TCJファシリテーター)ほか

▶▶▶里山に親しむ「はじめの一歩」として、まずは木に登ってみませんか。いつもとは違う動物や虫たちと同じ目線に立つことが、広島の自然や環境、森づくりを考えるきっかけになれば幸いです。子どもも大人も歓迎です。

分科会の申込みについて

分科会①は事前選択し、申込みフォームにてお申込みください。分科会②、③については、当日会場にて選択いただけます。



申込フォーム

分科会の詳細について

分科会②の詳細は、WEBで随時アップしていきます。環境パートナーひろしまのHPをご覧ください。



◆分科会② 1日目 16:00-18:00 発表セッション

身近な自然や地域に根ざした取り組み、調査・実践・教育・企業連携・学生の研究などの発表

F. シカの増加を考える—様々な影響と課題、対策と成果

釣井勇壮(NPO法人ほしはら山のがっこう)・上田康二(広島自然観察会)

H. 心の豊かさ(仮)

河野小夏

J. 古川のトンボ

吉田亜希、河島享子、黒岩信宏ほか(古川トンボしらべ隊)

L. ひろしま自然保育認証制度の意義や課題

杉山浩之(広島文教大学名誉教授)

N. 草刈り談義 2025

小倉亜紗美(呉工業高等専門学校)

G. 北広島町のブッポウソウ(仮)

前田美紗(NPO法人西中国山地自然地理研究会)

I. 考える~瀬戸内海のゴミを無くすには~

杉本智恵美(Eros地球を愛する真実の愛)

K. こどもの変容がまちを変える — 宮島の自然と共に歩む保育

田中聖也(宮島こども園)

M. ツキノワグマについて考える

南澤克彦(legoto)



◆分科会③ 2日目 9:15-11:15 コロストーク

テーマ:「わたしたちは、何を“贈る”ことができるか？」

▶▶▶各分野の実践者・参加者が少人数で語り合い、発表や体験を踏まえて「未来への贈り物(メッセージ・アクション)」を言語化・共有します。発表者や体験提供者のみなさんにも、この対話の場に登場・参加していただく予定です。

